

第5回総合シンポジウムのご案内

「我が国のモノづくり・コトづくりの再構築と第4次産業革命」

第5回総合シンポジウムを下記要領にて開催いたしますので、ご案内申し上げます。

- 日時：2018年11月18日（日）13:00～17:00
- 場所：ベルサール新宿住友スカイルーム(47階、Room4)
(新宿区西新宿2-6-1新宿住友ビル47F, TEL 03-3344-6983)
- 総合テーマ：「我が国のモノづくり・コトづくりの再構築と第4次産業革命」
- 主催：一般社団法人 日本開発工学会
- 協賛：一般財団法人 アーネスト育成財団
- 参加費：本会会員1,000円 一般2,000円
*シンポジウム終了後、懇親会（Room3, 参加費：3,000円）を開催します。

【申込方法】参加申し込みにつきましては11月9日（金）までに、次の方法にてお申し込み下さい（詳細後掲）。
Eメール: office@jpmot.org、またはFAX: 03-6276-2424
「氏名、所属、住所、E-Mail、電話番号、懇親会の参加（不参加）を記入して下さい」

[タイム・スケジュール]

◆開会の辞 会長 大江修造	13:00
◆運営要領 シンポジウム実行委員長 前田光幸	
◆基調講演 内閣府政策統括官 多田明弘	13:10
「我が国製造業に対する危機感と期待」	
セッション1：北陸先端科学技術大学院大学 名誉教授 小坂 満隆	14:00
「第3世代のサービスイノベーションと価値創造」	
セッション2：飯田グループホールディングス 代表取締役社長 西河 洋一	14:35
「サービスイノベーションで良質な住宅を安価に提供」	
セッション3：東洋製罐グループホールディングス 総合研究所長 佐藤 一弘	15:05
「研究開発におけるデジタル化の進展」	
セッション4：慶応大学理工学部 教授 大槻 知明	15:35
「スマート・ヘルスケア」	
◆パネル・ディスカッション（ファシリテーター） 運営委員長 小平和一郎	16:10
◆総括 シンポジウム実行委員長 前田光幸	16:50
◆第1回 研究発表大会 表彰式	17:00
◆懇親会（Room3）	17:10

総合テーマ「我が国のモノづくり・コトづくりの再構築と第4次産業革命」

基調講演 多田明弘 内閣府政策統括官（経済財政運営担当）



「我が国製造業に対する危機感と期待」-デジタル・トランスフォーメーションの中で-
IoT、AIに代表される第4次産業革命の下、GAFaやBATJに代表される新たな企業群が出現する中、我が国の製造業は国際競争力を維持できるのか。我が国の製造業が有する強みと弱みはどこにあるのか。デジタル・トランスフォーメーションが求めている本質的な改革とは何か。デジタル人材の不足、システム・デザイン思考の希薄化、「現場力」至上主義が陥りやすい罠などを見据えながら、経営主導で、付加価値を取れる事業形態を構築していく方向性を探る。

セッション・1 小坂満隆 北陸先端科学技術大学院大学 名誉教授



「第3世代のサービスイノベーションと価値創造」
サービスイノベーションはICT技術の発展とともに進化してきた。第1世代はイントラネット、第2世代はインターネットと進化し、IoTやAIといった新しいICT技術が第3世代のサービスイノベーションをもたらす。第3世代のサービスイノベーションは、新技術、高齢化社会等新たな応用分野、サービスドミナントロジックという新たなサービス概念の3つの要素を反映する。各世代の新技術による新しい価値はどのように創造されるのか？技術とビジネス価値はどのような関係があるのか？に関して、価値空間概念を導入して考察する。

セッション・2 西河洋一 飯田グループホールディングス 代表取締役社長



「サービスイノベーションで良質な住宅を安価に提供」
飯田グループホールディングスは「パワービルダー」といわれ、戸建て住宅産業を牽引してきた。技術の柱にプレカットがある。工場ですできるだけ生産することで、工期短縮と品質向上を実現する。土地の取得から住宅提供までをデジタル情報が支える。日本住宅の強みを生かし、海外での家づくりに数年来取り組んでいる。2017年にロシアのウラジオストクにモデルハウスを建設、本年、注文住宅を受注した。インドネシアでは、コンクリートブロック工法を開発、需要にもとづくシンプルな住宅を供給する。

セッション・3 佐藤一弘 東洋製罐グループホールディングス 総合研究所長



「研究開発におけるデジタル化の進展」
当研究所では、これまで、食品・飲料をはじめとした製品向け包装容器および包装システムの研究開発を行い、その安全性や利便性の向上を通じ、市場の発展に努めてきた。本発表では、その研究開発の経緯を概観し、その中で研究開発の効率化にむけたシミュレーション技術の進展について見ていくと共に、AIや量子コンピューターの出現など、飛躍的進歩が期待されているデジタル技術が研究開発にもたらす可能性について議論して行きたい。

セッション・4 大槻知明 慶応義塾大学理工学部 教授



「スマート・ヘルスケア」
高齢化率が21%を超えた社会を「超高齢社会」といい、日本は2007年に超高齢社会に突入した。このような状況下で、一人で日常生活をしている高齢者、いわゆる独居老人も増加している。高齢者は、怪我や病気になりやすく、また、そうなった場合、治るのにも時間がかかる。そのため、高齢者と離れて暮らす家族や医療・介護従事者の間で、高齢者の日常生活を見守る手法に対する関心が高まっている。本講演では、見守り技術を中心にITCに基づくスマートヘルスケアを紹介する。

パネル・ディスカッション 講演者、およびファシリテータ 小平和一郎 当学会 運営委員長

ディスカッション総合テーマ「我が国のモノづくり・コトづくりの再構築と第4次産業革命」

「第4次産業革命」を、単なる効率化やコスト低減、省力化ではなく、新しい価値創造にどう繋げるか。そのために、産官学はそれぞれ、具体的に何をすべきか等について、当面の課題を議論する。

- 日時： 2018年11月18日(日) 13:00～17:10
懇親会 17:10～18:30
- 場所： ベルサール新宿住友スカイルーム(47階、Room4)
(新宿区西新宿2-6-1新宿住友ビル47F, TEL 03-3344-6983)
- 会費：シンポジウム (本会会員 1,000円、一般 2,000円)
懇親会(3,000円)

【アクセス】:都営大江戸線・都庁前(A2出口)から徒歩2分、
営団丸ノ内線・西新宿(2番出口)から徒歩4分、
JR・新宿駅西口から徒歩8分、



E-mail: office@jpmot.org

FAX: 03-6276-2424

【参加申込書】

氏名:

当学会: 会員 一般

所属:

住所:

E-Mail:

電話番号:

懇親会: 参加 不参加

★11月9日(金)までにお申し込み下さい。